

四日市大学留学生新聞

編集部：朴慶姫 梁青 凌青 顧幸佳 杜錚 武曉娟 周大偉



新入生歓迎交流会

4月23日、司会の方から“新入生おめでとう”の聲がかかって、新入生歓迎会・交流会が始まりました。その日は大雨でしたが、先生方、1、2、3年の留学生や日本人学生のたくさんの参加がありました。

新入生は大学に入ったばかりで、分からないこと、心配なこと、不安な事がたくさんあるかもしれません。新入生のみなさんが早く大学生活に慣れるため、たくさん友達を作って、楽しい四年間の大学生活を送れるようにと、新入生歓迎会が開かれました。

まず、宗村学長の挨拶からはじまり、次いで支援センターの先生方の紹介があり、その後、留学生会の会長が新入生に入学を祝福する言葉を贈りました。

最後に、もっと交流を深めるため、トランプゲームと宝探しゲームをしました。特にチームに分かれての宝探しゲームは盛り上がりしました。新入生も先輩も、夢中になって精一杯頑張りました。ゲームの途中、みんな初対面であるにもかかわらず、コミュニケーションを取り合って、いろいろ話しあい、協力しあい、最後まで、雨の中を行ったり来たりして頑張りました。

ゲームが结束之后から、みんなは自分のチームの人々と一緒に軽食を取りました。その時は、ゲームの話ばかりでした。みんな楽しそうでした。

私達上級生はチームリーグとして、新入生のみんなと一緒にゲームをしました。とても楽しかった。時間が立つのは早いものだと感じました。去年の新入生歓迎会では、歓迎される側だった私達も、もう2年生になり、先輩になりました。私は心から“新入生おめでとう”と言いたい気持ちになっています。

四年間の大学生活は、長いと思っても、実際あっという間に過ぎていってしまうと思います。新入生の人達も、そして私達も、たくさん友達を作って、目標を持って頑張り、よく勉強して、学校の活動も積極的に参加し、充実した四年間の大学生活を送って欲しいと思いますし、送りたいと思います。

今は、新入生のみなさんは大学に入ったばかりで、大学生活にはまだ慣れていないので、いろいろ不安なこと、困ったこと、わからないことがあるかもしれません。そんな時は、留学生支援センターの人達や先生たち、留学生会の者や、留学生の先輩達に遠慮なく相談していただければと思います。私達も、新入生の人達の力になれば、嬉しいと思います。

梁青 経済学科 2年生



奨学金のお知らせ

平成22年度

貢献顕著な私費外国人留学生奨学金授与式

1月20日、「貢献顕著な私費外国人留学生奨学金」授与式を実施し、岩崎恭典教学部長から受賞者に奨学金が手渡されました。

この奨学金は、学業及び人物ともに優れ、大学・地域社会へ貢献顕著と認められる者を対象とするもので、留学生会、学外との国際交流活動などにおいて、特にめざましい活躍をした5名の留学生に贈られました。

岩崎恭典教学部長からの「学業以外にも地域のため、四日市大学のためによく努力してくれました。この奨学金を有効に使い、これからの留学生活も頑張ってください。」との言葉に、受賞者たちは嬉しそうな表情を見せていました。

学部	学科	学年	氏名	
経済	経営	2年	田 帥(デイ スイ)	留学生会活動
経済	経済	1年	吳 桐(ゴ トウ)	天津友好都市提携30周年企画展示、NHKのど自慢
経済	経済	1年	ビエン ヴァン フィー	弁論大会・大学祭、グループディスカッション報告者
経済	経営	1年	景景(ケイケイ)	暁高校国際交流・文化祭、グループディスカッション報告者
経済	経営	1年	陳 瑶(チン ヨウ)	学内外各種交流企画への積極的な参加

※学年は受賞当時のもの

東海大震災皆さん大丈夫？

災害は無情、愛は無限

2011年3月11日午後2時46分、日本の歴史上、最も激しい地震が東北地方の太平洋沿岸を襲った。東北地方の宮城県仙台市の東側130キロの海底で発生したマグニチュード9.0（日本気象庁発表、米国地質調査局は8.9）の地震であった。人類が地震を観測し始めた1900年以来、5番目に大きな地震だ。

地震が発生した直後には、高さ10メートルを超える津波が日本の太平洋沿岸を襲った。廃墟だけが残された被害地域では地球最後の日を思わせる惨状が広がった。一部地域では2日間にわたり交通と通信が断絶され、12日には福島第一原子力発電所の爆発事故が発生した。まさに恐怖の連続だ。

今回の災害で、日本人だけではなく、世界中の人々が災害の恐ろしさ、家族をなくした痛みなどを深く感じていた。正直に言えば、災害直後に、私も一度パニックに陥った。毎日のニュースを見ながら、涙を拭いていた。テレビから男性は女性を助け、若者は老人や幼児を助け、いろいろな場面は心に残った。感動したと同時に勇気ももらった。

災害後、日本国内からだけではなく、世界各地から救援隊や物資などが東北地方に次々に届いた。四日市大学もみんなの協力で、東日本大震災への義捐金683,000円を出した。それに加えて、植樹もした。東日本震災支援の会が主催する、宮城ボランティア活動に参加された教師や学生（留学生も入り）もいる。

私たちができることは少ないが、真心がこもっている。今で日本人が早くこの悲劇を乗り越えることを祈る。日本の東北大地震と津波のため日本列島が歴史上最大の災害に見舞われている。

凌 青 経営学科 3年生

地震が起こったら？！

日本は太平洋を取り囲んでいる環太平洋地震帯に属しています。そのため他の国に較べると地震が多い方です。地震が起きた時は焦らず落ち着いて行動することが一番大事です。室内にいる時は、使っている火は速かに消し、ガス、水道などを止めます。そして、身体を保護することができる机などの下に伏せ、できれば滑らないように固定物をつかむほうが安全です。時々、地震でドアが開かなくなる場合があるので、地震がおさまった時点で、素早くドアを開いて出口を確保し、外に逃げます。室外にいる時は、周辺に建物がない、運動場や公園などが一番安全です。

地震の被害を最小限にするためには、普段から注意をした方が良いです。まず、倒れやすい危険なものは固定器具などで固定しておく必要があります。そしてテレビや花瓶などはできるだけ高い所におかないようにします。地震の後、地面に散らばった硝子などでけがをしないように厚いスリッパなどを準備しておくといいでしょう！そして自分の家の家具の配置などに留意して安全な空間を確保し、火災などを起こしやすい危険物の管理に注意をしてください。

朴 慶姫 メディアコミュニケーション学科 3年生

この活動を通じてボランティアの大切さをすごく感じました。ボランティアは一時ですが被災地の方は毎日立ち向かっています。これからも自分が出来る事は少しでも続けて生きたい。-早川

ボランティアに行っただけで被災地の方から逆に元気をもらった気がします。被災地の方達の頑張っている姿を見て、自分達も頑張らなければいけないと思いました。-小林智宣



活動を通じて私は現地の方へ出来たことよりも私が得たことの方がすごく多かったと思います。人の温かさを感じる事が多い5日間だったと思います。-尾き雅

今、被災地の人達が願っているのは一日も早く自宅に帰りたい。時間と体力がある人は、現地に行き、ぜひ、ボランティアをして欲しい。-伊藤



百聞は一見にしかずの言葉の通り、現地は大変な状況です。個々人で出来ることを続ける事が支援につながると思います。-大川



今回ボランティアで感じたことは災害を受けた人々の家がとても悲惨なことになっていたのでもっと大変だと思えることができました。-米島幸生



3日間のボランティア活動を行いました。東松島市に行くまでに悲惨な現場を見るだけで津波の恐ろしさを目の当りにしました。ボランティアの活動を楽しく作業していましたが、改めて考えが変わりました。次のボランティアにも参加したいです。-石田沙也佳

今回のボランティアに参加し、若い人々と一緒にボランティア活動をして、若い人達を理解出来た事は大変貴重な体験でした。同時に地元の人達からは大変感謝してもらい、苦勞して行ったかいがありました。-坂下博基



ボランティアに参加して、感じたことは、宮城の人達は明るく強かったです。一日ボランティアに回れる軒数は限られています。なので、完全に復興できるように協力していけたらいいと思いました。-岡部

たった3日間の作業でもとても疲れたけど、被災地の人達はこれからも現場にいなければならないことを考えるとまだまだこういった活動に参加していこうと思いました。-後藤大輔



宮城県への支援！頑張れ日本



この活動に参加して、地震や津波の恐ろしさが分かりました。また、この活動に参加でき、とても良い体験ができ、復興に向け、一人一人が出来ることをやって生きたいです。-三好康介

今回ボランティアに行けて、本当に良かったと思います。被災地ではとても良い経験をさせてもらいました。何よりも地元の人に感謝されたことがうれしかったです。-山崎賢人

このボランティアでテレビなどでは感じる事が出来ないことを現地に行って感じる事が出来た。-河田直希



今回のボランティアで自分は、これからもこういう活動を続けていくことが大切だと思いました。-日下部



3日間の作業を通して、小さな力を合わせれば、大きな力になれるはず、一人ひとりできることをやり、ささやかであっても、被災地の人々に勇気と希望をあたえることがわかりました。-間嶋丹

ボランティアに参加でき、すごく貴重な体験ができたことに感謝しています。まだまだ復興にはたくさんの力が必要だと思うので、一人一人が出来ることをして復興に向けて頑張りたいです。-花木寿弥



ボランティア活動を通じて、地震の怖さを身近に感じました。一方、被災地の方々に、震災に負けない勇気と決心を感じて、すごく感動しました。皆の力を合わせて、どんな困難であっても、必ず乗り越えたと信じています。頑張ろう、日本！-林燕



今回のボランティア活動を通じて、私は外国人として、留学生としての身分ではなく、文化も言葉も国籍も超えた地球人として、苦しい生活から被災者達を救い出すために、力になりたいと思います。私は東日本大地震の怖さを身近に感じました。四日市大学の学生と教員のボランティア団体と一緒に協力して連帯感が互いの心に生まれました。みんなと同じ目標のために、精一杯被災者のため、頑張りました。-湯泉

被災地で、生きている人々は自分の親友達が亡くなった悲しさをこらえて新しい家を再建するため、頑張っている。私達に会って、笑顔で迎えてくれたとき、私はその強さ、明るくさに感動した。心から日本に向かって頑張ろうと声を出している。その困難を乗り越えて、必ず、いい明日を迎える。必ず、元気な日本になっているだろう。-梁青



留学生交流

スポーツ交流会

とても長い春休みがやっと終わりました。春休みに入ってから友達と一緒に学んだり、遊んだりすることが減っていました。一緒にいる日々を思い出してみたら、楽しい毎日でした。

でも春休みの間での生活と学校に通う生活が違うと感じます。学校が始まったばかりの時、留学生支援センターでは春休みの間であまり身体を動かさなかった私達のためにスポーツ大会を開きました。参加した人は大勢とは言えないかもしれませんが、思ったよりはたくさんの方がいました。参加している人はよく身体を動かすバスケットボールやバレーボールをしたりして、みんながやる気が満々でした。新たな始まり、新たな自分で精一杯で頑張っていくのではないかと..

斉 鑫 環境情報学科 3年生



ヨンヨン祭の紹介

四日市大学では一年に一回主催する学園祭—ヨンヨン祭があります。去年のヨンヨン祭は、私にとって少し緊張しましたが、とても嬉しい一日でした。その日、学園祭のカラオケ大会に参加して、賞状をもらったからです。

最初、カラオケ大会に参加しようと思ったのは、大会の賞品が目についたからです。1位はipod touch、2位はデジタルカメラでした！！私は何も考えず申し込みをして、すぐに後悔しました。申し込んだ人の30人の中で外国人は自分一人しかいなかったからです。日本人と日本の歌で勝負するなんて絶対無理だと思いました。突然、緊張感が高まり、やめようと思いました。もう遅かったです。結局私はたこ焼き機をもらいました。

今年のカラオケ大会の賞品は何かなあ？ 賞品が何でも大丈夫なの.. 一生忘れられない大切な経験を得られてとても嬉しいです。今年の学祭も留学生の皆さん、自分を表現することができる機会を絶対逃さないでね！

杜 錚 メディアコミュニケーション学科 3年生

検定試験のお知らせ



資格は、就職、進学の時とても大事な自己アピールになります。学部別で取れる資格を紹介します。皆さん在学中の間に、役立つ資格にぜひチャレンジしてみましょう！

経営経済学部／総合政策学部が目指す資格

簿記、販売士検定
ファイナンシャルプランナー
秘書技能検定
スポーツ指導員検定

全学部で目指す共通の資格

日本語検定試験 N1
TOEIC
MOS

環境情報学部が目指す資格

公害防止管理者検定
基本情報技術者検定
ITパスポート
映像音響処理技術士検定
カラーコーディネーター検定
MIDI検定

お知らせ

インターンシップについて

四日市大学には学生時代に仕事の現場を体験できる機会が与えられるインターンシップというプログラムがあります。インターンシップとは、在学中に企業や自治体などの職場で「就業体験」をする制度です。あらかじめ決められたプログラムに従い、アルバイトとは異なった視点から企業や仕事を体験し、働くことを学べます。就職希望の留学生にとってインターンシップへの参加は、役に立つと思います。

朴 慶姫 メディアコミュニケーション学科 3年生

進路ガイダンスのお知らせ



留学生のための進路ガイダンス(3年生対象)

3年生対象に進路ガイダンスを行いました。希望進路別のグループ別相談も実施されました。日本での就職希望者、日本での進学希望者、または帰国希望者に分かれ、参加者の意識が高まったようです。

日時 2011年6月7日(火) 16:20~17:40
テーマ 留学生は、今、何をすべきか？
会場 四日市大学 ADV教室
講師 客員教授 西牧 義江

留学生のための大学院進学ガイダンス

大学院への進学を希望する留学生のためのガイダンスを行います。進学希望者はぜひ参加してください

日時 2011年6月28日(火) 16:20~17:30
会場 四日市大学 ADV教室
講師 名古屋大学大学院留学生専門教育教員 土井 康裕



日本語能力テスト対策コーナー



猫を使った慣用表現

- 猫の手も借りたい：非常に忙しくて人手が足りない。
- 猫をかぶる：本当の性格を隠して、おとなしそうにしている。
- 猫の額：庭や土地がとても狭い。
- 猫ばば：悪いことをしても、隠して、知らないふりをする。
- 猫も杓子も：誰でも、何でも。

ESLの合宿



春休みに、ESLの英語合宿に参加しました。

参加者の目的は皆それぞれ異なり、将来大学院の進学のため、新しい友達を作るため、単に、英語に興味があって、喋りたいために、集まって、一緒に楽しく、二泊三日を過ごしました。

まだ寒かったけれど、青々とした植物がコテージを取り囲んでいました。とてもきれいな場所でした。

英語の勉強のためなので、全員がなるべく英語で話しました。二泊三日、料理を作ったり、ゲームをしたり、ギターを弾きながら歌を歌ったりしました。宝物をさがすゲームは大変だったけれど、楽しかったです。

参加メンバーは、日本人だけではなく、さまざまな国の人も熱心に参加してくれました。ネパールのみなさんはネパールカレーを作ってくれました。日本人のみなさんもカレーを作ってくれました。とてもおいしかったです。

みなさん、本当に楽しかったです。Everybody Welcome to English House!
Come on! Join us!

田 野 経済学科 2年生

ESLでは、長期間である春休みを利用した2泊3日の短期合宿がある。私は去年の合宿が2度目の参加だった。一昨年は生徒の参加人数が5人で少人数であったが、今回は24人と大勢の参加者が集まった。日本人学生のみではなく、社会人学生や留学生、看護大生など普段の学校生活では接触がない人たちと一緒に生活することにより、コミュニケーションをとりながら、交流を深める事が出来た。

また、普段の教科書を使った授業とは違いリラックスした雰囲気の中で、暮らしで必要となる表現や単語に重点を置いたゲーム、自然に囲まれた環境を生かしウォークラリーやキャンプファイヤーなどの身体を動かしたプログラムがある。単に英単語や表現を知識として覚えるだけではなく、そこで得た知識を合宿の生活の中で実際に話すことにより自分の英語力が以前よりも身に付いた感じがした。この経験で私は、英語を身につけるには二つの事が重要だと思った。一つは、覚えた英語を何らかの形で使う事の必要性だ。一度知った単語をそのままにしないで日記をつけるなどをして出さないと忘れてしまい、折角覚えたものが生かされない。二つ目は、日常的に英語に触れる事だ。さすがに、合宿の時のように英語で会話する機会はなかなか無いが、英語の本を読んだり、洋楽を聴くことなどを習慣にし、去年より少しでも多く英語が話せるようになりたいと思った。

2泊3日という短い時間ではあったが、英語にたくさん触れる事ができ、とても貴重な体験ができた。

村木 希久子 メディアコミュニケーション 3年生

